

DENSAN

電線被覆剥離機

ケーブルムッキー KM-150

取扱説明書

このたびは、ケーブルムッキーをお買上げいただきまして、まことにありがとうございました。

ご使用にあたっては、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管してください。



ジェフコム株式会社

I 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

- ここに表した注意事項は、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するものです。安全に関する重要な事項ですので、必ずお守りください。表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。いずれも安全に関する重要な事項ですので、必ずお守りください。



警告

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重症(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。

※1 重症とは、失明や、けが、やけど(高温、低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび、治療に入院・長期の通院を要するものをさします。



注意

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害(※2)を負う可能性及び、物的損害(※3)の発生が想定される内容を示しています。

※2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

※3 物的損害とは、家屋、家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。



警告 1

1. 交流 100V 以外では使わない。(日本国内 100V 専用)
2. 定格 15A 以上のコンセントを単独で使う。
他の器具との併用により、分岐コンセント部が異常発熱して、発火する恐れがある。
3. 電源コードは、付属の物を使用する事。破損したまま使わない。また、電源コードを傷つけない。(加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、引っ張る、ねじる、たばねる、重い物を載せる、挟み込むなど)
4. 差込プラグにホコリが付着している場合は、よくふき取る。
5. 差込プラグは確実に差し込む。
6. 差込プラグ部のアース線をアース端子に接続して使う。
7. 電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差込がゆるい時は使わない。
8. 濡れた手で、差込プラグの抜き差しをしない。
9. 改造はしない。(修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。)
10. 水につけたり、水をかけたりしない。雨の日の屋外使用はさける。



警告 2

1. 電源・ケーブル太さより極端に刃位置を下げない。
2. 直径 21mm 以上の電線・ケーブルを挿入しない。
3. コネクタ、端子、絶縁テープ、モルタルなどの異物が付いている電線・ケーブルは挿入しない。
4. 一度に複数本の電線を挿入しない。
5. ねじれたものや折れ曲がった電線・ケーブルは挿入しない。
6. 大きく被覆が破れた電線・ケーブルは挿入しない。
7. 電線以外のものを挿入しない。
8. 強引に電線を挿入しない。詰まった場合、線を強引に引き抜かない。

9. 挿入口および排出口に指や手を入れない。
10. 運転中に電線の排出口を覗きこまない。
11. 連続 1 時間運転後、10 分間運転停止のこと。
12. 本機は自動復帰形温度過昇防止装置を内蔵しているので、前記装置が働き本機の動作が停止した場合は、一旦電源を OFF にし、30 分後に再度電源を ON にして使用する事。
13. VVF 線はフラット部を水平にして挿入すること。
14. 作業はゴムコーティング作業手袋で行い、一般的な軍手などは避けること。引き込まれて怪我をする可能性がある。万一異常音や発煙などがあったときは運転を停止してください。

⚠ 注意

1. 水平状態で使用し、不安定な場所では使わない。
2. 壁や家具などの近くでは使わない。
3. (背面 = 電線の排出側は、十分なスペースを確保して作業してください。)
4. 水のかかる所や、火気の近くでは使わない。
5. 被覆をはがす時や、中の銅線を取り出す時、銅線のとがった部分でケガをする事があるので、皮手袋などを着用して十分に注意をして作業する事。
6. 使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。その際は必ず差込プラグを持って引き抜く。
7. お子様に触れない様にすること。

2 仕様

- ① 電源：AC100V
- ② 電力：130W 50Hz/160W 60Hz
- ③ 大きさ：W297× D210× H171mm
- ④ 重量：約 12kg
- ⑤ 対応被覆線：IV 線、VVF 線、CV 線、VVR 線など直径 1.3mm 以上の銅線を被覆した電線・ケーブル
- ⑥ 性能：被覆外径 3.2mm, 3.6mm, 4.6mm の単線および、被覆外径 21mm 以下の電線・ケーブルの被覆剥離。
- ⑦ 剥離速度：約 20m/分
- ⑧ 連続 1 時間運転、10 分間運転停止
- ⑨ 特徴
 - ◆ 刃間隔の目盛付 (電線・ケーブルの太さに応じて刃位置が合わせやすい)
 - ◆ 単線挿入口とより線挿入口の 2 挿入口方式

3 各部のなまえとはたらき

刃感覚調節ハンドル

「より線」挿入口「単線」挿入口それぞれに挿入される電線・ケーブルの線径に合わせて刃の上下間隔を調節します。ハンドルが右回転で大線径に対応します。左回転で小線径に対応します。

刃間隔目盛盤

電線・ケーブルの種類に応じて、刃高さの調節が簡単におこなえます。

案内板固定ツマミ

より線の大きさに合わせて左右ガイドの幅調節を固定します。

より線挿入口

被覆外径 21mm 以下の電線・ケーブルに対応しています。

単線挿入口



電源スイッチ

電源を「ON」「OFF」するスイッチです。「ON」で回転が始動して剥離が出来る状態になります。



外装スリット部

操作に関しては次ページ以降に説明があります

4 電源の操作

1. 本機に付属の電源コードを接続した後に、コンセントに電源プラグを確実に差し込んでください。
2. 差込プラグ部のアース線をアース端子に接続してください。
3. 「電源スイッチ」を入れます。電源スイッチを「ON」側に押すことでランプが点灯し本体が始動します。
4. 「電源スイッチ」を「OFF」側に押すと、電源が切れランプが消灯し本体の回転が停止します。
5. 作業中、被覆剥離動作が止まったなどの何らかの異常を感じたときは、電源スイッチを「OFF」にして本体動作を停止させます。この時、電線・ケーブルなどが挿入されている場合は、「刃間隔調整ハンドル」を右回転して、刃間隔を広げた状態にしてから挿入した電線・ケーブルを手前に取り出してください。

5 より線作業手順

1. 刃間隔を 7 項に示す目安の目盛に合わせる。
2. 電線・ケーブルを挿入口から刃に当たるまで押し込み、「案内板固定ツマミ」で左右の案内板を固定し、電線・ケーブルをいったん取り出します。
3. 本体上部の「刃間隔調節ハンドル」で、電線・ケーブルの種類に合わせて刃間隔を調節します。（刃間隔は後述の目安表を参照してください。目安表はあくまで一般的な電線・ケーブルの代表例です。表示以外の電線・ケーブルに関しては目安表を参考に調節を行なってください。）
電線・ケーブルの太さより極端に刃間隔を狭くして銅線に深く傷をつけないようにしてください。
刃間隔調節ハンドル：右回転で刃間隔を「大」 左回転で刃間隔を「小」に出来ます。
4. 電源スイッチを「ON」にして、本機を始動します。
5. 先程調節を終えた「電源・ケーブル」をより線挿入口に差し込み作業を開始します。「電線・ケーブル」の表皮が剥離出来る状態で背面側に排出されます。

6 単線作業手順

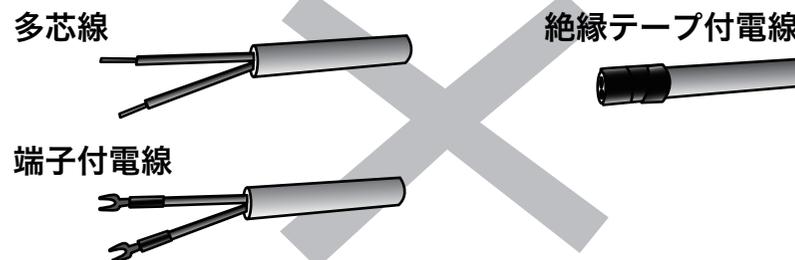
1. 本体上部の「刃間隔調節ハンドル」で単線の外径に合わせて刃間隔を調節します。
2. 電源スイッチを「ON」にして、本機を始動します。
3. 電線を単線挿入口に差し込み作業を開始します。
4. 背面排出口より、電線が銅線と被覆とに剥離出来る状態で排出されます。

7 スリット間隔調整目安一覧表

線の種類	目盛表示
単線 3.6mm	0.8
VVF ケーブル (2 芯、3 芯)	1.4
CV 100sq	9.8
IV 2sq	0.5 以下
IV 5.5sq	1.6
IV 14sq	3
IV 22sq	4.2
IV 38sq	5.8
IV 60sq	7.4
IV 100sq	10

電線・ケーブルで作業できないもの

電線の先端形状の代表例イメージ図です。



8 剥離作業の注意事項

1. 傷付き電線・変形電線などを剥離する場合はその部分をきれいに切断除去してから挿入してください。
2. 電線の切り口はケーブルカッターなどできれいな円形に切断して挿入してください。
3. 電線が本機の中にある状態で次の電線を入れしないでください
4. 剥離する電線の長さは 2m 以下が適当です。
5. 本機のカバーははずさないでください。
6. 使用中に何らかの異常音、振動、過熱などがあった場合はすぐに運転を停止して、各部の点検を行ってください。異常の原因がわからない時は当社に連絡してください。

ケーブルムッキー KM-150 保証書

製造番号	
無料修理保証期間	お買い上げ年月日より 1 年間 (ただし切刃については保証外です)
お買い上げ年月日	年 月 日
お客様	ご芳名 様 Tel
	〒
	ご住所
販売店	店名 Tel
	〒
	ご住所 印

本書は、本書記載内容にて無償修理を行うことをお約束するものです。

上記「無償修理保証期間」中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼下さい。

- 所定記入欄が空白のままですと、本書は有効になりません。
記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出下さい。
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管して下さい。

無償修理規定

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店にお申し出下さい。
2. ご転居、ご贈答などで修理依頼が出来ない場合は、取扱説明書の表紙に記載してある(株)アスクにご相談下さい。
3. 保証期間内でも、次のような場合は有償修理となります。
 - ①使用上の誤りや、不当な修理、改造による故障及び損傷。
 - ②お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - ③火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
 - ④本書のご提示が無い場合。
 - ⑤本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の記載が無い場合、または字句を書き換えられた場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

保証期間経過後の修理などについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。